



就労支援フォーラムNIPPON 2021

ゲームチェンジャー ～打開から破壊まで～

2021.12.17_{FRI} — 12.19_{SUN} の3日間

就労支援のキーパーソンがオンラインで結集します



WHO IS THE GAME CHANGER?

ゲームチェンジャー
～ 打開から破壊まで ～

先達の活動が施策となり、さらなる実践が生まれ、障害者の就労支援は更新され続けています。

一方、固定化された概念と手法が当事者の可能性を阻んでいる現実

気がつかない現場もいまだ多く見られます。

「変革」には「反発」という副反応をとまなうため、うろたえる状況に陥ることもあります。

進化のために、私たちは自身が囚われているものを打ち破らなければなりません。

閉塞感にあるからこそ生まれる「ゲームチェンジャー」。

局面を変える実践と理念に触れ、それぞれの現場に破壊にも近い打開を生み出すことを

目的として、3日連続オンラインで開催します。

1日目 | 12/17 (金)



施策を知り
課題を認識する

基調講演や行政説明、パネルディスカッションを通して、就労支援においていま把握しておくべき情報を共有します。

2日目 | 12/18 (土)



発信、交流する
プレゼンDAY

全国各地の現場の実践者が続々登壇し、それぞれの取り組み事例を発表します。質疑応答などオンライン上で交流できます。

3日目 | 12/19 (日)



答えを得て
構想をつくる

昨年スタートしたコンテクストフォーラムもさらに進化します。テーマ別に行う具体的な議論によって前に進みます。

就労支援フォーラム NIPPON

障害のある人の「働きたい」を実現するために、工賃の低さや一般就労への移行をはじめとする諸課題の解決に向けて、事業所、企業、自治体、行政、医療、研究・教育機関など、障害者就労支援にかかわる関係者が全国から集い、学び、情報交換を行う、日本最大の障害者就労プラットフォームです。2014年から毎年12月に東京で開催し、延べ17,000人以上の参加者と活発に議論し、現場に、国に、具体的な改善を働きかけてきました。今年度は、12月の「全国版」フォーラムと連関しながら、9月に報酬改定をテーマにした「MINI FORUM①」、10月にアセスメントを学べる「MINI FORUM②」、2022年3月に「SUB FORUM」を、すべてオンラインで行います。過去のフォーラムのプログラムは公式サイトでご覧いただけます。



hataraku-nippon.jp/archive/forum/

16:00-16:10 主催者あいさつ

日本財団

16:10-16:20 来賓ごあいさつ

厚生労働省 (調整中)

16:30-17:30 基調講演

障害者就労支援の本質
～視点を変えれば見えてくる新常識～

影山摩子弥
横浜市立大学都市社会文化研究科 教授

17:35-18:30 行政説明①

障害者雇用・福祉施策の連携強化に関する検討会
～「今どうするか」「今後なにを見据えていくのか」～

小野寺徳子
厚生労働省職業安定局障害者雇用対策課 課長

酒井京子
全国就業支援ネットワーク 代表理事

久保寺一男
社会福祉法人進和学園 統括施設長

[進行] 藤尾健二
千葉障害者就業支援キャリアセンター センター長

18:45-19:40 行政説明②

報酬改定の効果と影響、および、
2022年度に考える新規事業について

津曲和成
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課 課長

酒井大介
社会福祉法人加島友愛会 専務理事

志賀正幸
社会福祉法人つかさ会 理事長
[進行] 奥西利江
社会福祉法人維雅幸育会 ふっくりあもんマール 管理者

19:45-21:15 パネルディスカッション①

同質選好からニューロダイバーシティへの
ゲームチェンジ

河野太郎
衆議院議員、行政改革担当大臣、国家公務員制度担当大臣、
内閣府特命担当大臣

平井裕秀
経済産業省 経済産業政策局長

畑田康二郎
株式会社デジタルハーツプラス 代表取締役

安部和志
ソニーグループ株式会社 執行役 専務 人事、総務担当

大島友子
日本マイクロソフト株式会社 技術統括室 プリンシパルアドバイザー

鈴木慶太
株式会社 Kaizen 代表取締役
[進行] 高田篤史
株式会社野村総合研究所コンサルティング事業本部
ヘルスケア・サービスコンサルティング部 主任コンサルタント

9:30-17:00 プレゼンテーション (テーマ別)

この閉塞感を打ち破るゲームチェンジャーは誰だ!?

- 全国各地の実践者から就労支援等の様々な取り組みを発表
- 発表は応募から選ばれた16 題
- 最新トピックによるピックアッププレゼンも実施
- オンライン上で参加者との質疑応答や意見交換も

10:00-12:00 コンテキストフォーラム／第1部

※4会場でも同時進行。フォーラム参加申込時、参加希望の
プログラムをA～Dから1つご登録ください

【A】企画：日本職業リハビリテーション学会

職業リハビリテーション
～方法・担い手の現状と発展～

朝日雅也
埼玉県立大学 学長補佐 高等教育開発センター長

小川浩
大妻女子大学人間関係学部 教授

稲葉健太郎
名古屋総合リハビリテーションセンター自立支援部 就労支援課長

大島みどり
NPO法人NECSTユースキャリアセンターフラッグ 施設長

[コーディネーター] 倉知延章
九州産業大学人間科学部 教授

【B】企画：アクセント株式会社

精神・発達障害者雇用の実践とチャレンジ
～個々人の特性と能力に向き合う雇用を
どう実現するか～

奥田健次
学校法人西軽井沢学園サムエル幼稚園 創立者・理事長
一般社団法人日本行動分析学会 理事

大島友子
日本マイクロソフト株式会社 技術統括室 プリンシパルアドバイザー

大瀧 徹
パーソルホールディングス株式会社
グループ人事部障害者雇用推進部 室長

杉山尚子
星槎大学大学院 教育学研究科 教授
公益社団法人日本心理学会 代議員

中島隆信
慶應義塾大学商学部 教授

[進行] 中村健太郎
アクセント株式会社ビジネス コンサルティング本部 インダストリー
コンサルティンググループ日本統括マネジング・ディレクター

【C】企画：全国就労移行支援事業所連絡協議会

在宅支援と在宅就労の広がり(コロナ禍が加速させたもの)

六車 浩
かがわ総合リハビリテーションセンター地域生活支援部 科長

佐藤美貴
NPO法人札幌チャレンジド 理事・就労グループリーダー／
障がいのある方の全国テレワーク推進ネットワーク 共同代表

軸屋か美子
レイスバックオフィス株式会社 経営管理部チーフ

[進行] 若尾勝己
NPO法人東松山障害者就労支援センター 代表理事

【D】企画：日本財団

企業就労支援の
「再トレーニング・トレードセンター」構想
～それは、画餅か打開か、それとも破壊なのか?～

小野寺徳子
厚生労働省職業安定局障害者雇用対策課 課長

金塚たかし
NPO法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク 副理事

有村秀一
一般社団法人障害者雇用企業支援協会 理事

横堀 大
クリンリース株式会社 専務取締役

竹村利道
日本財団公益事業部国内事業開発チーム シニアオフィサー

[進行] 石崎雅人
一般社団法人障害者雇用企業支援協会 常務理事

13:00-15:00 コンテキストフォーラム／第2部

※4会場でも同時進行。フォーラム参加申込時、参加希望の
プログラムをE～Hから1つご登録ください

【E】企画：日本精神科看護協会／日本作業療法士協会

となりの職場は仕事の宝庫!
～地域で広げる超短時間雇用～

原 真衣
NPO法人ヒューマンケアクラブ ストライド 統括長

中村優樹
渋谷区障害者就労支援センター ハートバレーしずや
地域開拓コーディネーター

戸所信貴
渋谷区障害者就労支援センター ハートバレーしずや
地域開拓コーディネーター

橋口康晴
就労継続支援B型事業所ストライドクラブメンバー 羽衣湯ワーカー

大槻由美
セブンイレブン渋谷公園通り店マネージャー

渋谷区障がい福祉課より1名

小松美紀
訪問看護ステーション スマイライフ代々木上原 所長

ほか

【F】企画：全国就業支援ネットワーク

今あらためて考える「就労定着」
～それぞれの立場から～

飯田和一
スターティアウィル株式会社 代表取締役社長

島本昭平
株式会社リンクス 就労移行支援事業所リンクス 事業統括

今井宏美
障害者就業・生活支援センター ビック・ハート松戸 主任就業支援担当

小垣 圭
千葉市立養護学校 進路指導主事

[進行] 藤尾健二
NPO法人全国就業支援ネットワーク 理事

【G】企画：きょうされん

障害の重い人の「働く」を支える
実践からみえてくること
～制度の枠組みを超えて。生活介護の現場より～

阿部 勇
社会福祉法人ひびき福祉会アクティビティセンターひびき 主任

河合律子
社会福祉法人のびのび福祉会のびのび協働作業所大地 施設長

三木裕和
元 鳥取大学地域学部 教授

塩田 彩
毎日新聞統合デジタル取材センター

[進行] 北川雄史
きょうされん就労支援部会／社会福祉法人いぶき福祉会 専務理事

【H】企画：日本財団

動き出した工賃・賃金倍増センター
～400億円の受発注システムは実現可能か～

中村敏彦
一般社団法人ゼンコロ 会長

高橋宏和
社会福祉法人東京コロニーコロニー東村山 副所長

鈴木 宏
社会福祉法人山形県コロニー協会天童サポートセンター 施設長

小田島直子
ヴァルトジャパン株式会社 ビジネスオペレーションストラクチャー室長

内藤風香
ヴァルトジャパン株式会社 ジョブコーチ

[進行] 竹村利道
日本財団公益事業部国内事業開発チーム シニアオフィサー

15:15-16:45 パネルディスカッション②

10年先を見据えた障害者雇用・就労法制
～自治体の好事例をふまえて～

長谷川珠子
福島大学行政政策学類 准教授

永野仁美
上智大学法学部 教授
話題提供者／自治体 (川崎市・鳴門市) 担当者・関係者

[進行] 石崎由希子
横浜国立大学大学院国際社会科学研究院 准教授

16:45-17:00 エンディング

※所属は2021年9月1日時点の情報です
※プログラム、登壇者は予告なく変更される場合があります

全体会

基調講演 12/17(金) 16:30-17:30

障害者就労支援の本質

～視点を変えれば見えてくる新常識～

障害者を雇用することは企業にとって負担感をともなう受け止められがちです。基調講演においては、その視点を換え、積極的に戦力とすることが、企業にとって持続可能な発展であることを現場調査から見出した横浜市立大学の影山摩子弥先生に、障害者の戦力化やシナジー効果、その2つを高める就労支援と企業との連携、その際に本来持つべき観点などについてお話しいただきます。また、ICTもしくはDX、テレワークを効果的に使っている企業の実例もふまえ、コロナ禍以降の障害者雇用の景色も示していただきたいと思います。



講演
影山 摩子弥
横浜市立大学
都市社会文化研究科
教授

行政説明① 12/17(金) 17:35-18:30

障害者雇用・福祉施策の連携強化に関する検討会

～「今どうするか」「今後なにを見据えていくのか」～

厚生労働省は、雇用施策と福祉施策のさらなる連携強化に向け、より具体的な検討の方向性を議論することを目的に、「障害者雇用・福祉施策の連携強化に関する検討会」の報告書を取りまとめ公表しました。今後、労働政策審議会障害者雇用分科会および社会保障審議会障害者部において、制度所管ごとに具体的な議論を進めるなど、今後の障害者雇用行政の根幹となるものです。施策の方向について、ポイントをわかりやすく説明いただくとともに、現場からの質問により、掘り下げ、理解を深めたいと思います。



登壇者
小野 寺 徳子
厚生労働省職業安定局
障害者雇用対策課 課長

行政説明② 12/17(金) 18:45-19:40

報酬改定の効果と影響、および、 2022年度に考える新規事業について

令和3年度障害福祉サービス等報酬改定における就労支援関連の主な改定内容は、次の3点。【(1) 就労移行支援……就労定着支援の質の向上に資する報酬等の見直し、一般就労への移行の更なる評価等、定着実績をふまえたきめ細かな評価等。(2) 就労継続支援A型の基本報酬等の見直し(スコア方式の導入)、(3) 就労継続支援B型の基本報酬等の見直し(報酬体系の類型化)】。この新たな報酬体系が現場にどのような効果と影響をもたらしたのか？さらに積み残しの現場の課題はあるのか？説明と指定質問により、理解を深めます。



進行
奥西 利江
社会福祉法人維雅幸育会
ふくくりあモーション
管理 室 長

パネルディスカッション① 12/17(金) 19:45-21:15

同質選好からニューロダイバーシティへの ゲームチェンジ

本プログラムでは、「従来の障害者雇用の枠組みに囚われず、各人の個性を戦力として発掘・育成し、経済成長の担い手として活躍する社会を目指すべきである」というメッセージを発信します。加えて、「当事者、支援者、企業、行政が個別に課題解決に取り組むのではなく、どのように連携し、変わるべきか」について、各代表者によるパネルディスカッションを通じ、具体的なアクションの方向性を検討します。



企画
木島 百合香
株式会社野村総合研究所
コンサルティング事業本部
コンサルタント

プレゼンテーション(テーマ別) 12/18(土) 9:30-17:00

この閉塞感を打ち破るゲームチェンジャーは誰だ!?

社会全体を覆うコロナ禍による閉塞感。思うように進まない現場の停滞。今、求められているのは、嘆くことではなく打開するための試行と実践です。そこから生まれる破壊にも近いイノベーションが、まさに現場では必要とされています。日本のどこかで今日も繰り広げられているその「ゲームチェンジ」の実践を、ぜひ発表、共有してください。このフォーラムの主役はあなた自身です(「プレゼンテーション」への応募方法は裏表紙をご覧ください)。また、最新トピックによるピックアッププレゼンも併せて実施予定です。



企画・進行
村上 智則
日本財団公益事業部
国内事業開発チーム
リーダー

パネルディスカッション② 12/19(日) 15:15-16:45

10年先を見据えた障害者雇用・就労法制 ～自治体の好事例をふまえて～

『現場からみる障害者雇用・就労』(弘文堂／2021年)の著者であり、「障害者雇用・福祉施策の連携強化に関する検討会」ないし同検討会ワーキンググループの委員でもある登壇者らが、障害者の雇用や就労について特徴的な取り組みを行う自治体やその関係者の経験をふまえて、超短時間雇用等を含む雇用率制度のあり方と、雇用と福祉の連携にとって重要な「チーム支援」の構築を題材に、10年先を見据え、障害者雇用・就労法制の長期的な課題について議論を展開します。



進行
石崎 由希子
横浜国立大学大学院
国際社会科学研究院
准教授



中嶋 弓子
日本財団公益事業部
国内事業開発チーム
リーダー

Facebookで日々発信しています

就労支援フォーラムNIPPONの最新情報や、就労支援に役立つさまざまなトピックス、日本財団の助成に関するご案内などを公式Facebookでいち早くお知らせしています。ぜひご覧ください。なお、本フォーラムは定員がありますので、お申し込みはくれぐれもお早めをお願いします。また、1名のお申し込みにつき、1つの端末(画面)のみでのご視聴となりますのでご注意ください。お申し込み方法はp06でご案内しています。

就労支援フォーラムNIPPON
公式Facebook
facebook.com/sfnippon/



第1部 12/19 (日) 10:00-12:00

企画：日本職業リハビリテーション学会

企画：アクセントア株式会社

A 職業リハビリテーション ～方法・担い手の現状と発展～

障害者自立支援法、障害者総合支援法成立以降に生じている3つの変化（就労系障害福祉サービスの対象者および担い手の変化・障害者雇用の対象者の変化・雇用者である事業主ニーズの変化）をふまえ、職業リハビリテーション（障害のある人が働くことを通じての社会参加と自己実現や経済的自立の機会を作り出す取り組み）の理念と方法を今いちど振り返るとともに、就労支援人材の現状と課題について議論します。



企画・運営担当
眞保智子
法政大学現代福祉学部
福祉コミュニティ学科
教授

B 精神・発達障害者雇用の実践とチャレンジ ～個々人の特性と能力に向き合う雇いをどう実現するか～

身体・知的障害者の雇用が拡大されつつあるなか、精神・発達障害者の雇用は緒に就いたばかり。一方、海外ではハリウッド、さらにイスラエルでは国防部門で発達障害者が活躍する事例もあり雇用のポテンシャルは高い。精神・発達障害といっても一律で語れず特性や能力は幅広く企業が雇用には慎重となることも多いが、日本でも、個々の特性や能力をふまえて環境を整える企業も出始めており、成功の要諦、実行上のチャレンジについて議論いただきます。



進行
中村健太郎
アクセントア株式会社
ビジネス・コンサルティング本部
マネージング・ディレクター

企画：全国就労移行支援事業所連絡協議会

企画：日本財団

C 在宅支援と在宅就労の広がり (コロナ禍が加速させたもの)

コロナ禍において多様な働き方が推進されるなか、障害者雇用や雇用前の訓練段階では、出勤して働く、通所して訓練するといった従来通りの形が継続されている状況です。一方、ICT機器の発展により、重度身体障害者等の在宅就労はこの10年で大きく進展しており、その在宅就労を実現するべく、在宅による職業訓練や就労移行支援の事例が報告され始めています。本フォーラムでは、在宅支援を実施している事業者、在宅就労を進めている企業の方より実践報告をいただき、現状を認識し課題を共有することで、今後の在宅支援および在宅就労の可能性を探っていきます。



登壇者
佐藤美貴
NPO法人
札幌チャレンジ
理事・就労コーディネーター

D 企業就労支援の「再トレーニング・トレードセンター」構想 ～それは、画餅か打開か、それとも破壊なのか？～

法定雇用率の遵守に各企業の精一杯の努力が続いている。現状、障害者雇用は、2極化にあると感じている。一つは「欠かさない戦力」。他方は、圧倒的に多い「法定雇用率のため致し方なく」というもの。本セッションでは、これまでにない発想に基づくシステム「企業就労の円滑化のための再トレーニング・トレードセンター構想」について、行政、企業らとともにその実現による効果、課題について率直に議論する。



登壇者
金塚たかし
NPO法人大精神障害者
就労支援ネットワーク
副理事

第2部 12/19 (日) 13:00-15:00

企画：日本精神科看護協会／日本作業療法士協会

企画：全国就業支援ネットワーク

E となりの職場は仕事の宝庫！ ～地域で広げる超短時間雇用～

近年「働く障害者」は増えているが、精神障害や発達障害等、障害の特性によっては長時間の勤務が難しい人もいます。このような、就労意欲があっても働く機会を得られなかった障害者の就労機会を生み出す短時間雇用に取り組む行政や企業も増えて、それぞれの地域にあった雇用の創出が進められている。そこで、今回はコンビニや銭湯など、街の中で実践されている超短時間労働の取り組みの実際を報告し、そのあり方を考えたい。



登壇者
原真衣
NPO法人ヒューマン
ケアクラフト
統括長

F 今あらためて考える「就労定着」 ～それぞれの立場から～

コロナ禍のもと、あらためて「障害者雇用」の在り方が問われています。なかでも「働き続ける（定着）」をどのように継続していくかということが重要です。平成30年には新たな障害福祉サービスである「就労定着支援事業」がスタートしました。あれから3年、障害者雇用・就労における「定着」を構成する要素はどのようなになっているのか？そこで今回は、「企業」「学校」「定着支援事業所」「障害者就業・生活支援センター」それぞれの立場から「定着」をテーマにお話いただき、議論を深めます。



登壇者
今井宏美
障害者就業・生活支援センター
ビック・ハート松戸
主任就業支援担当

G 障害の重い人の「働く」を支える実践からみえてくること ～制度の枠組みを超えて。生活介護の現場より～

「働く」ことを、社会において多様な人がそれぞれ担う多様な役割を意味するならば、その営みは雇用や既存の就労系事業におけるものに限定されません。支援者が生産性偏重の価値観を振り返り、障害のある人の営みを丁寧に社会の中の役割として価値化する糸口は、むしろ障害の重いとされる人の「働く」を支える実践にあると考えています。障害の重さを、働く支援を追求しない口実とすることなく、当事者の願いに寄り添う生活介護の現場の実践報告をもとに対話を重ねます。



登壇者
塩田彩
毎日新聞
統合デジタル取材センター

H 動き出した工賃・賃金倍増センター ～400億円の受発注システムは実現可能か～

「やるんだ」と声高に意思表示しても、現実にするには程遠い賃金倍増。7回のフォーラムを通じて、事業者はその気が十分あることはよくわかりました。ただ、どうすればいいのかわからない、やってはいるが方法が間違っている、ということも見えてきました。その結果、賃金アップに寄与する幅広い業務を受注し、全国各地にあっせんする全国的受発注システムの必要性に気づき、構想がまとまってきた「倍増センター」。一足早く、自治体との連携事業、そしてかつてない大型の具体的な業務のあっせんが開始されました。その構想とこれからについて、実際の業務紹介も含め、ご紹介したいと思います。



登壇者
高橋宏和
社会福祉法人東京コロニー
コロナー東村山副所長

就労支援フォーラムNIPPON 2021

ゲームチェンジャー ～打開から破壊まで～

日 時	2021年12月17日（金）16:00-21:15 12月18日（土）9:30-17:00 12月19日（日）10:00-17:00
方 法	配信（配信会場 フクラシア東京ステーション）
定 員	5,000名
対 象	障害者就労支援事業者／企業／行政／医療従事者／障害当事者・家族／そのほか障害者就労支援にかかわる関係者・機関
参 加 費	2,500円（消費税込）※1名様（1メールアドレス） ※3日間すべてのプログラムを視聴できます ※団体割引 …… 1事業所にて10名様以上申込の場合、参加費2,000円（1名様あたり）といたします グループ会社などの合算人数は適用になりません 別途申込となりますので、まずは下記事務局宛にメールでお知らせください
主 催	日本財団
後 援	厚生労働省（申請中）
協働企画	日本精神科看護協会、日本作業療法士協会、日本精神保健福祉士協会、全国社会就労センター協議会、きょうされん、就労継続支援A型事業所全国協議会、ジョブコーチ連絡協議会、全国就業支援ネットワーク、全国就労移行支援事業所連絡協議会、日本セルフセンター、障害者雇用企業支援協会、全国障害者雇用事業所協会、日本職業リハビリテーション学会

お申し込み

❗ 1名のお申し込みにつき、1つの端末（画面）のみでのご視聴となります

申込方法 インターネットでのお申し込みのみとなります（メールアドレスが必要です）
※1 参加申込Webサイト | <http://sec.tobutoptours.co.jp/web/evt/forum2021>
※2 フォーラム公式サイト (hataraku-nippon.jp/forum-2021) にもリンクがあります



申込期間 **2021年12月14日（火）17:00** ※ 定員に達した時点で申し込みを締め切らせていただきます

視聴について

- 詳しい視聴方法は参加申込Webサイトトップページ掲載「視聴方法」をご確認ください
- 視聴用端末（パソコンまたはスマートフォン、タブレット）とネット環境をご用意ください
- インターネットが利用できればアプリ、ソフトのインストールは不要です
- 動画配信となり通信料を多く消費するためWi-fi環境を推奨いたします
- 配信には文字通訳をご用意しています

お問い合わせ先

就労支援フォーラムNIPPON 2021事務局（東武トップツアーズ株式会社 官公庁事業部）

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-5-25 西新宿プライムスクエア16F 担当 萩原・渡邊・川添・坂本・佐藤・高橋

TEL 03-5348-3896 FAX 03-5348-3799 (10:00-18:00 土日祝休業) e-mail forumnippon2021@tobutoptours.co.jp

就労支援 フォーラム NIPPON

2021年度は4回のフォーラムをすべてオンラインで行います

毎年12月の「全国版」フォーラムと連関しながら、9・10月に「MINI FORUM」を、2022年3月に「SUB FORUM」を開催。

障害者就労の視点、論点をリードし、企業や福祉ほか関係機関のハブとなり、政治、行政への影響力を高め、具体的かつ効果の高いイノベーションの実現に向かいます。詳細はフォーラム公式サイトや公式 Facebook をご覧ください。

2021

9/24 [FRI]

17:30-19:00

就労支援フォーラム NIPPON MINI FORUM ①

報酬改定の影響と、その先の意味を考える

[無料開催]

2021

10/13 [WED]

17:30-19:00

就労支援フォーラム NIPPON MINI FORUM ②

なかなか聞けない?! 就労支援の基本の“き”「アセスメント」

[無料開催]

2021

12/17 [FRI]
18 [SAT]
19 [SUN]

就労支援フォーラム NIPPON 2021

ゲームチェンジャー ～打開から破壊まで～

2022

3/3 [THU]

13:00-18:30

就労支援フォーラム NIPPON SUB FORUM

ゲームチェンジ実現のための補習授業（仮題）



「就労支援フォーラムNIPPON」は、新しい就労支援の取り組み「日本財団はたらく障害者サポートプロジェクト」の1つです。本プロジェクトは、いま絶対に乗り越えなければならない課題と、それらに対する出口として具体的な解答やビジョンを示し、着実に実行することによって、障害のある人の「はたらく」を全力で応援します。詳細は公式サイトをご覧ください。

hataraku-nippon.jp/

12/18(土) 9:30-17:00 プレゼンテーション「この閉塞感を打ち破るゲームチェンジャーは誰だ!?!」

あなたの実践を発表してください

大募集



全国5,000人へ向けてプレゼンテーション!

社会全体を覆うコロナ禍による閉塞感。思うように進まない現場の停滞。今、求められているのは、嘆くことではなく打開するための試行と実践です。そこから生まれる破壊にも近いイノベーションが、まさに現場では必要とされています。たとえば、コロナ禍ならではの新たな就労種目開発による工賃向上、入院時から就労支援を可能とする医療機関との連携、一般就労でのミスマッチを解消する企業との協働スキーム等々……「ゲームチェンジ」の可能性を秘めた実践事例の数々を、ぜひ発表、共有してください。

過去に会場で行ったプレゼン企画の様子。今回は全国約5,000人(想定)のオンライン参加者に向けて発表していただきます。



応募について — A4ペラ1枚の「抄録」をお送りください

【募集対象】

- 便宜上の分類として、カテゴリーをいくつか示しますので、参考にしてください
- これらのカテゴリーにおいて、「ゲームチェンジ」となる(なった)実践を募集します
- ただし、下記に含まれないものや、複数のカテゴリーを横断する取り組みも大歓迎です

- | | | |
|---------------|-------------------------|---------------|
| ◎ 工賃・賃金向上 | ◎ 重度障害者に対する就労支援 | ◎ 職場定着率の向上 |
| ◎ 医療と就労支援との連携 | ◎ 特別支援学校と就労支援との連携 | ◎ 発達障害に特化した支援 |
| ◎ 家族支援 | ◎ 新型コロナウイルス感染拡大の影響からの脱却 | |

【応募方法】

- 事業所の紹介や取り組み内容を要約した「抄録」を作成して、ご応募ください
※「抄録」は当日の資料集(PDF)に掲載して、フォーラム参加者に送付します
- 「募集要項」(抄録様式付き)を公式サイト【hataraku-nippon.jp/forum-2021】でダウンロードして、必要事項を記入のうえ、募集要項に記載の方法で送付してください



【募集期間】

2021年9月30日(木)～11月19日(金)

発表について — 12/18(土)に8分間のプレゼンテーション

【発表までの流れ】

- 募集期間終了後、日本財団「就労支援フォーラムNIPPON 2021」協働企画会議で選考し、選考結果を通知のうえ、発表者には、発表方法の詳細を記載した発表要項を送付します
- 事前にパワーポイントでプレゼン資料を作成していただきます(書式は自由。シートは20枚まで。動画の使用は不可)
- 発表方法や事前の準備については、運営事務局がサポートします

【発表当日】

- 本フォーラムの配信会場(東京都・大手町「フクラシア東京ステーション」)にて発表していただきます
(新型コロナウイルス感染対策に十分に留意して実施します。また、社会状況等により、発表場所・方法を変更する場合があります)
- 発表は各8分間、その後、発表者同士によるセッションや参加者との質疑応答を行います
- 「プレゼンテーション」はいくつかのブロックに分けて実施し、それぞれファシリテーターを1名配置します
- 感染予防対策にともなう会場内人員数の抑制のため、発表者は1名のみとさせていただきます
※発表者も「就労支援フォーラムNIPPON 2021」への参加申込が必要です。配信会場までの旅費交通費(原則として実費)を支給します